

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 5 月 27 日

### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                                       |
|---------|---------------------------------------|
| 事業所番号   | 第4690800034号                          |
| 法人名     | 医療法人 三徳会                              |
| 事業所名    | グループホーム 希望の家                          |
| 所在地     | 鹿児島県出水市六月田町361番地<br>(電話) 0996-64-8802 |
| 自己評価作成日 | 平成23年5月1日                             |

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

永年の地域医療に貢献してきた医院を母体として、国道447号線沿いの同じ敷地内に平成20年4月開設しました。利用者様の身体状況に変化が起こった時、相談や治療が受けられます。デイサービスと併設し、一緒に季節行事を楽しんだり、気晴らしに送迎バスに便乗させてもらっています。また栄養士に意見を聞いたり、調理の協力をもらったりと、恵まれた環境で職員も安心して仕事ができます。周囲には商店やスーパーが建ち並び、日常的に利用者様と一緒に必要な買い物を楽しんでいます。敷地の裏手には田んぼや山々が連なり、穏やかな日には敷地内の散歩をしています。利用者様と少しずつ育てた花や野菜を愛でながら、話が弾みます。開設から三年経ちました。ご家族を始め多くの方々からの支援を頂きながら『触れ合い・技術・共有』を理念として利用者様主体のより良い介護になるように日々努力しています。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

|             |   |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | <a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a> |
|-------------|---|

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人NPOさつま      |
| 所在地   | 鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号 |
| 訪問調査日 | 平成23年5月27日           |

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

出水市の中心より少し郊外の国道沿いに位置し、付近は大型の商業施設や飲食店が建ち並び、日常的に買い物、娯楽、外食などの利便性も良く、ホーム裏手は田んぼが広がり、自然環境にも恵まれている。  
ホームは拘束のない自由な生活となじみの関係継続、自立に向けた支援などに取り組んで、日常生活介護を目指している。入居時、身体介護が必要だった利用者が今では自由に外出ができるようになったケースもある。また、職員間の連携と見守りで娯楽施設の利用や図書館、買い物、散歩など利用者が行きたいときに外出を楽しめるように支援しており、自然体でのびのびと生活している様子が利用者の表情や動作などにもうかがえる。また、毎月作成されているホーム便りの写真などからもホームでの様子が良く分かる。ホーム便りは、行事報告や今後の予定、職員紹介やホームの情報、家族へのお知らせ、本人の現況報告など内容が豊富で工夫されている。  
利用者の健康管理にも力を入れて、隣接する法人の医療機関とは24時間の医療連携体制が図られて、家族・職員の安心に繋がっている。  
利用者どうしが仲が良く、午後のひとときはソファに集まり会話を弾ませ、笑い声が聞かれる、明るく活気のあるグループホームである。

| 自己評価               | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|--------------------|------|---|---|--|-------------------|
|                    |      |   | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |      |   |   |  |                   |
| 1                  | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている                       | 一昨年、開設当初の理念について事業所の役割と意義を考えながら見直し、地域との関係を意識した新たな理念をつくりあげた。皆で決めた理念を施設に掲示する事により意識付けし、日常の介護に活かすよう努力している。     | 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた理念を、職員全員で話し合っ作成している。ミーティング等で理念を確認し、理念の共有と実践につなげている。  |                   |
| 2                  | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している                     | 地元の自治会に参加し、年間行事の清掃作業や総会などにも参加している。又、近隣への買い物や外食・理美容等をできるだけ利用し、利用者様も地域を頼りに生活している。                           | 商業地のため、民家が離れているが、自治会に加入して、グランドゴルフの見学や地域の運動会へ参加するなど積極的に交流に努めている。また、出身地の運動会へ連れて行くこともある。今年度は有線放送の設置と地域の集会議場でオレンジリング運動を計画している。 |                   |
| 3                  |      | ○事業所の力を生かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている                    | 電話での相談を受けたり見学者などの対応を行っている。運営推進会議を通し、近々自治会の公民館で地域の高齢者を対象としたオレンジリング運動や健康教室を企画している。                          |  |                   |
| 4                  | 3    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議には家族会代表、自治会長、民生委員、行政担当者などが参加し、ホームの状況報告や今後の取り組み等について話し合っている。参加者の意見や助言を記録に残し、参考にしてサービスの向上に活かすよう努めている。 | 運営推進会議は2ヵ月に1回定期的に開催している。地域の情報やホームの活動報告、社会参加、事故報告やヒヤリハット報告などが行われている。地域密着型サービスとして地域に密着した運営のためにも、会議は地域とのパイプラインになっている。         |                   |

鹿児島県 グループホーム希望の家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------|------|---|--|--|-------------------|
|      |      |   | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5    | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる   | 市が主催する研修へ参加したり、行政担当窓口へ足を運び、ホームの現状報告や相談等を行ってサービスの質の向上に努めている。運営推進会議にも毎回包括支援センターより参加いただいている。                    | 日頃より連携を図り、協力関係を築くように努めている。   |                   |
| 6    | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 拘束についてマニュアルを作成し、施設内学習・検討の場を月1回設け、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。昼間外に出たいとの様子が伺える時は職員が付き添ったり見守りを行い、積極的な外出援助が行えるように取り組んでいる。 | 可能な限り外に出る介護を目指しており、職員の見守りと近隣の協力で、隣のパチンコ店に出かける利用者や福祉タクシーを利用してなじみの店へ買い物に出かける利用者など、日中は施錠などせずに職員間の連携で安全で自由な外出を楽しめるように支援している。 |                   |
| 7    |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                      | 研修への参加や施設内学習を行い、学びの機会を設けている。常日頃より身体の観察や言葉使いについても職員同志注意し合っている。  |  |                   |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している                                 | 研修への参加や施設内学習を行い、学びの機会を設けている。今現在、施設利用者で日常生活自立支援事業や成年後見制度を活用している方はいない。   |  |                   |

鹿児島県 グループホーム希望の家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|---|---|---|-------------------|
|      |      |   | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br><br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                     | ご家族・ご本人に対し説明を行い、疑問点を尋ねた上で、理解・納得を得、契約を結んでいる。ご本人様が納得されない場合は、御家族様や居宅ケアマネを交え話し合う機会を設けている。                     |   |                   |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br><br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                 | 面会時や、行事の際の家族参加の声掛け、家族交流会など意見や要望を聴く機会を設けている。運営推進会議にもご家族に参加して頂き意見を伺っている。意見を頂いた場合、職員間で話し合いの場を設け反映できるよう努めている。 | 面会時や電話連絡の際に家族から意見、要望を聞き出すようにしている。また、年2回の家族交流会時にホームの年間の行事報告や意見交換を行っている。毎月のホーム便りは、分かりやすい内容で情報量も多く工夫されている。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。 |                   |
| 11   | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br><br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                 | ミーティングを毎日朝一番に行い職員の意見や提案を聞いて、運営に反映させている。月1回グループホーム会議も行い、全職員間で話し合う機会を設けている。                                 | 毎朝の申し送りと申し送りノートの活用で、職員は情報の共有を徹底している。また、毎月のグループホーム会議で意見交換や話し合いを行っている。レベルアップに向けた資格取得の支援も行っている。  |                   |
| 12   |      | ○就業環境の整備<br><br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員の仕事は、常に観察、把握しており、深夜勤務の労働に対して賃金アップも昨年実施した。又、国の交付金も活用し給与水準向上に努めている。有休を利用して、長期の休暇での職員のリフレッシュ化も進めている。       |   |                   |

鹿児島県 グループホーム希望の家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   |      | 外部評価              |  |
|------|------|--|--|------|-------------------|--|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| 13   |      | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>          | <p>新人に対してはカリキュラムを設け、新人研修を行っている。法人外の職員の研修会もできるだけ参加の機会を設けている。介護・認知症についての本の購入を行い、職員の質の向上に努めている。</p> |      |                   |  |
| 14   |      | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>グループホーム連絡協議会・ケアマネ協議会等を通じて、同業者と常に交流を図っている。又、意見の交換を通して他の施設の良いところを取り入れてサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>    |      |                   |  |

鹿児島県 グループホーム希望の家

| 自己評価                        | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|-----------------------------|------|---|--|------|-------------------|
|                             |      |   | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |  |      |                   |
| 15                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br><br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所時には本人との対話を通し要望等を聞き、思いを受け止めるように努めている。話に出てきた内用は記録に書き留め、全職員がきちんと理解した上で統一したケアが行えるよう努めている。      |      |                   |
| 16                          |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br><br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入所時には御家族様との対話を通し要望等を聞き、思いを受け止めるように努めている。話に出てきた内容は記録に書き留め、全職員がきちんと理解した上で統一した関係づくりが行えるよう努めている。 |      |                   |
| 17                          |      | ○初期対応の見極めと支援<br><br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 心身の状態を把握し、優先すべき課題は何か、どのような介護を行うべきかを職員間で話し合っている。相談内容によっては居宅サービスや介護保険以外のサービスの紹介も行っている。         |      |                   |
| 18                          |      | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                           | 日常生活において、料理や洗濯物干し、買物や花植え等本人の残存能力を見極め、また出来る部分は自分で行ってもらっている。                                   |      |                   |

鹿児島県 グループホーム希望の家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|--|--|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19   |      | ○本人と共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 外出・外泊・医療機関の受診・季節の行事など連絡をとりながら出来る範囲で協力して頂いている。  |   |                   |
| 20   | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 面会・外出・外泊はいつでも受け入れられている。本人が希望されれば住みなれた家や友人宅、行きつけの店や希望された他科受診援助等、外出援助も行っている。また、贈り物が届いた際にはお礼のハガキを準備したり、お礼の電話を掛ける等の支援も行っている。 | 自宅訪問や、行きつけの娯楽施設・商店・美容院などこれまでの生活を維持できるように外出支援を行っている。また出身地の運動会観覧に出かけるなど、なじみの人や場との関係継続の支援を行っている。 |                   |
| 21   |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 利用者様同士の日ごろの関係を把握し、トラブルを回避したりお互い仲良くできるように、職員が仲を取り持っている。食事テーブル等の配置も職員が人間関係を見極め配置している。                                      |   |                   |
| 22   |      | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 他施設への利用や長期入院で退所されても、必要に応じ利用者様・御家族様からの相談援助や支援を行っている。職員も、機会があれば退所利用者様へ会いに行っている。  |   |                   |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |   |                   |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 御家族様や、本人との日常生活の行動・対話をした時の内容などから情報を得、意向の把握に努めている。判断に困る時は、行動・表情・サイン等から意向の把握に努め、ミーティングで話し合い、本人本位の支援方法を検討している。                      | 何をするにも本人の意思確認をしてから行うように心がけている。会話の中から思いや意向を把握し、困難な場合は表情、言動、家族や関係者からの情報などから本人本位に検討している。   |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居時に本人・ご家族・ケアマネージャー、面会時にご友人などから以前の生活歴・趣向・サービス利用を聞いて把握に努めている。  |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 毎日の個々の生活支援の様子を記録に残している。入居者様に変化があった場合、朝夕の申送りの議題にあげている。   |   |                   |
| 26                                 | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画を作成するにあたって、家族には面会時や電話で意見を聞いている。意志疎通の可能な方へも意向をお聞きし、本人や家族が望む暮らしに繋がるように、職員で話し合いサービス計画を作成している。モニタリングも三ヶ月に一回行い、現状に即した計画作成に努めている。 | 地域密着型サービスとして、なじみの人たちとの交流でこれまで本人が通っていた場所への外出支援をサービスに取り入れている利用者もいる。変化を見逃さないように、毎日、サービス内容についてのチェックを行って定期的に評価を行い、見直しに活かし、現状に即した介護計画を作成している。 |                   |

鹿児島県 グループホーム希望の家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------|------|--|--|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27   |      | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている            | 日々の様子や気付き等、ケース記録として残している。ケアについては毎日のケア実施記録として実践状況をチェックしている。毎朝の申送り時や申送り用ノートを使用したり、毎月のGH会議時に話し合いをして個々の介護計画の改善や見直しをしている。 |  |                   |
| 28   |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br><br>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人・家族の状況や要望に応じ、マッサージや余暇活動、外出援助等、多岐にわたって援助できるように努めている。  |  |                   |
| 29   |      | ○地域資源との協働<br><br>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している            | 民生委員やボランティア、消防等とも協力しながら支援を行っている。地域資源に対しては、職員間で、より豊かな暮らしが楽しめるよう情報を出し合い、共有している。  |  |                   |
| 30   | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br><br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している        | ほとんどがご家族の希望により、隣接の病院が主治医となっている。二週間に一回往診がある。又、他科受診が必要な方には家族に説明を行い同意を得、受診援助を行っている。受診後には主治医に報告している。                     | 隣接する母体法人の医療機関とは24時間オンコールで医療連携体制がとられている。また、他科受診などは本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。 |                   |

鹿児島県 グループホーム希望の家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------|------|--|--|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31   |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                      | 心身の状態に変化があった時は職場内の看護職員や隣接の看護師に報告し、助言をもらう。必要時は受診に付き添う。職員間では助言内容や処置を、連絡帳等利用して共有したケアに努めている。   |  |                   |
| 32   |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | 入院時は、心身の状況や日常生活、服薬等について報告したり早期退院に向けて相談している。MSWとも密に連携を取る事で状態把握に努めている。入院中は職員が面会に行き病院での様子を伺ったりしている。   |  |                   |
| 33   | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入所の時点で将来に向けた本人・家族の意向の確認、施設で出来る事やできない事の説明は行っている。重度化した場合は、施設で対応しきれない部分や代替援助等について御家族様に了承を得る。場合によっては他施設等への紹介や申し込み代行も行っている。看取りケアについても方針や説明書の書類は整備しているが今の所、実施には至っていない。 | 重度化や終末期に向けたホームの指針を作成し、入居時・家族会時にホームの方針を説明している。また、利用者の身体状況に応じて主治医を交えて家族と話し合い、同意書を作成している。 |                   |
| 34   |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 急変や事故発生時は意識レベルや外傷の有無を確認して、必要に応じて隣接の主治医に報告している。緊急時の対応の方法については看護師による研修を行ったり、緊急時対応マニュアルを作成して対応している。   |  |                   |

鹿児島県 グループホーム希望の家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|--|--|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35   | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 昨年は地域住民や消防署・地域の消防団の方々に参加していただき、夜間想定防災訓練を行った。施設では年2回の火災及び水害等に備えた防災訓練を計画し行っている。非常食の備蓄も行っている。 | 定期的に避難訓練を行っている。スプリンクラーも設置されており、地域住民・併設の病院・近隣の商業施設等とも協力体制構築について話し合っている。水害も予想される地域のため、今年度は水害による避難訓練も計画している。 |                   |

鹿児島県 グループホーム希望の家

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
|                                  |      |  | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |  |                   |
| 36                               | 14   | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br><br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                | 理念に基づいた介護をめざしている。プライバシーを保ち、人格を傷つけないよう言葉や対応には気をつけている。常日頃より職員にはパーソンセンタードケアやバリテーションの理念を念頭に置き対応するよう話し合っている。入職時にも守秘義務の研修・誓約書を交わしている | 個々に応じた声かけや、利用者との会話が否定的にならないように配慮しながら対応している。職員会議でケアとスタッフの資質の向上について話し合い、その実践に向けて取り組んでいる。                                     |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 利用者本位を基本とし、出来る限り利用者様の話を聞き、希望を取り入れられるように頑張っている。利用者様の状況によっては行動に付き添い、自己決定出来るように導いている。   |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | スケジュール表の一日の流れはあるが、一人一人の生活のリズムを大切に、職員側のスケジュールを調整し対応している。行事等への参加は無理強いせず、本人の意向を伺っている。   |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している                                   | 季節に合った衣類の準備を、家族に相談している。訪問美容の利用や、付き添って美容院へ出かけている。簡単なカット、化粧は職員が行っている。更衣時は本人に衣類を選択してもらっている。                                       |  |                   |
| 40                               | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 昼食は法人の栄養士が作成した献立に基づき調理している。朝・夕食は利用者に日常会話の中で好きな物や季節の食べ物を聞き、職員がメニューを決めている。買物へ一緒に出かけたり、調理や盛り付け、後片付けなども職員と一緒にやっている。                | 茶碗洗い、片づけ、調理の下ごしらえなど個々の力量に応じて職員と共に行っている。また、家庭菜園や餅つき・桜餅・ちまき作りなど利用者から教わりながら一緒に作業することもある。本人の希望による個人的な外食支援や全員で出かけられる外食なども行っている。 |                   |

鹿児島県 グループホーム希望の家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|--|--|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている        | 法人外研修へ参加し、高齢者の献立の要点や一日に必要な摂取量・水分量について学んだ。昼食は栄養士の献立を参考にしている。  |   |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                | 毎食後、口腔ケアを行っている。自立度に応じ、一部介助や仕上げ磨きを行う。義歯利用の利用者は、夕食後は義歯を預かり化学的清掃を行っている。   |   |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 排泄の記録をし、一人一人の排泄パターンを把握している。これらの記録や利用者の排泄サインから判断してトイレ誘導を行い、失禁の減少と自立支援に取り組んでいる。下剤やオムツの使用については担当者や看護職員を交え、問題があればその都度検討を行っている。 | 排泄チェック表を工夫して個々の排泄パターンを的確に把握し、自立に向けた支援を行っている。ホームに入居してからトイレでの排泄が可能になったケースやおむつ使用だったが現在は布パンツに改善された利用者もいる。 |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                 | 食事にはなるべく野菜を取り入れ、毎日牛乳を飲用している。利用者によっては食物繊維の多いプルーンやお茶等を使用している。排泄記録を参考にして、水分摂取量にも気をつけている。便秘の度合いによっては主治医の指示で緩下剤に頼る事もある。         |   |                   |

鹿児島県 グループホーム希望の家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|---|---|---|-------------------|
|      |      |   | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br><br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している                        | 基本的には一日おきに入浴できるように、声掛けや誘導を行っている。拒否や体調不良等あった時は曜日や時間にとらわれず、心身の状態が落ち着いてから行っている。失禁等により汚染した場合、24時間いつでもシャワーを使用できるように対応している。 | 希望があれば毎日の入浴も可能で時間帯も個々に応じた入浴の支援を行っている。温泉に行きたいとの本人の希望で温泉利用を支援した利用者もいる。  |                   |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br><br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 利用者様の夜の入床は、各々のペースに任せている。昼間はできるだけ離床し活動的に過ごしていただけるよう支援している。昼食後の昼寝等、身体的に無理が無い程度で自由にとってもらっている。                            |   |                   |
| 47   |      | ○服薬支援<br><br>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 個々の薬の説明書を必要な時はいつでも閲覧できるようにしている。特に受診後に処方の変更があった時は薬剤情報を皆で確認し、服用後の症状の観察には注意を払い対応している。                                    |   |                   |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                               | 個々のレベルに合わせて趣味や特技を活かしたり、役割を担って頂いている。嗜好品の買物、ミニドライブ、外食援助、パチンコ等個々の支援を行っている。   |   |                   |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br><br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 職員の勤務状況にもよるが、可能な限りは希望に沿った外出援助を行っている。場合によっては御家族様や地域の人々と連携し、出かけられるように支援している。周辺の散歩や買い物等は日常的に支援している。                      | 日常的には自由な外出を支援しており、職員の見守りで図書館、趣味のパチンコ、買い物、散歩などに出かけている。また、季節を感じられるように花見(梅・あじさい・バラ・コスモス・もみじ狩り等)や、こいのぼり、クリスマスイルミネーションなども楽しんでいる。 |                   |

鹿児島県 グループホーム希望の家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------|------|--|---|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50   |      | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>   | <p>基本的に大金や貴重品は持ち込みを遠慮してもらっているが、金銭を希望された場合は会計より預かり金を返金している。買物やパチンコ等、本人の好きなように使ってもらっている。</p>                              |  |                   |
| 51   |      | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>   | <p>年賀状・暑中見舞いや贈り物へのお礼など本人手書きのはがきを送っている。電話での取り次ぎや、希望された時の連絡も支援している。</p>   |  |                   |
| 52   | 19   | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>車道より奥まったところがあり、不快な音はあまり聞かれない。採光は良く夏期は日差しが強いのでよしずで射光した。張り絵などで季節感を出したり、行事の写真を貼って楽しんでいる。中庭や玄関には利用者様から季節の花を生けて頂いている。</p> | <p>共用空間は広く大きなテーブルとソファのコーナーがある。昼食後のひとときはソファに集まってテレビを見たり、おしゃべりを弾ませたりとだんらんの間となっている。</p> |                   |
| 53   |      | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>   | <p>食堂と居間は一体化しており、個々の利用者様の好きな場所がある。気のあった人と一緒に過ごしたり、介護者との傍にいて安心されたり、一人で外を眺めたりと、皆さん自由に過ごされている。</p>                         |  |                   |

鹿児島県 グループホーム希望の家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   |   | 外部評価              |  |
|------|------|--|--|---|-------------------|--|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| 54   | 20   | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>ダンスやロッカーは備え付けてある。テレビや寝具は本人が使い慣れたものを持参していただいている。ご家族との思い出の写真や絵手紙、居宅で使われていた物等をできるだけ持ってきていただくよう御家族様には説明しています。</p> | <p>入居の際に使い慣れたものやなじみの物品を持ち込んでもらえるように、家族に説明している。テレビ、ラジオ、椅子、ぬいぐるみ、位牌、趣味の鉢植えなどが持ち込まれ居心地良く過ごせる居室である。</p> |                   |  |
| 55   |      | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>   | <p>施設内のバリアフリー、廊下や風呂場等動線に合わせた手摺等の工夫がされている。視覚を活かしトイレまでの矢印等表示している。介護用具も取りそろえ、自立度に応じた援助が出来るよう備えてある。</p>              |   |                   |  |

V アウトカム項目

|    |   |   |               |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。<br>(参考項目：23, 24, 25)   | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の   |
|    |   |   | 2 利用者の2/3くらいの |
|    |   |   | 3 利用者の1/3くらいの |
|    |   |   | 4 ほとんど掴んでいない  |
| 57 | 利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。<br>(参考項目：18, 38)           | ○ | 1 毎日ある        |
|    |   |   | 2 数日に1回程度ある   |
|    |   |   | 3 たまにある       |
|    |   |   | 4 ほとんどない      |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。<br>(参考項目：38)                 | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が   |
|    |   |   | 2 利用者の2/3くらいが |
|    |   |   | 3 利用者の1/3くらいが |
|    |   |   | 4 ほとんどいない     |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。<br>(参考項目：36, 37) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が   |
|    |   |   | 2 利用者の2/3くらいが |
|    |   |   | 3 利用者の1/3くらいが |
|    |   |   | 4 ほとんどいない     |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。<br>(参考項目：49)                | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が   |
|    |   |   | 2 利用者の2/3くらいが |
|    |   |   | 3 利用者の1/3くらいが |
|    |   |   | 4 ほとんどいない     |

鹿児島県 グループホーム希望の家

|    |  |   |               |
|----|--|---|---------------|
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。<br>(参考項目：30, 31)                         | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が   |
|    |  |   | 2 利用者の2/3くらいが |
|    |  |   | 3 利用者の1/3くらいが |
|    |  |   | 4 ほとんどいない     |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。<br>(参考項目：28)                     | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が   |
|    |  |   | 2 利用者の2/3くらいが |
|    |  |   | 3 利用者の1/3くらいが |
|    |  |   | 4 ほとんどいない     |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。<br>(参考項目：9, 10, 19)   | ○ | 1 ほぼ全ての家族と    |
|    |  |   | 2 家族の2/3くらいと  |
|    |  |   | 3 家族の1/3くらいと  |
|    |  |   | 4 ほとんどできていない  |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。<br>(参考項目：9, 10, 19)                  |   | 1 ほぼ毎日のように    |
|    |  | ○ | 2 数日に1回程度ある   |
|    |  |   | 3 たまに         |
|    |  |   | 4 ほとんどない      |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。<br>(参考項目：4) | ○ | 1 大いに増えている    |
|    |  |   | 2 少しずつ増えている   |
|    |  |   | 3 あまり増えていない   |
|    |  |   | 4 全くいない       |

鹿児島県 グループホーム希望の家

|    |                                    |   |               |
|----|------------------------------------|---|---------------|
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。<br>(参考項目：11, 12)   | ○ | 1 ほぼ全ての職員が    |
|    |                                    |   | 2 職員の2/3くらいが  |
|    |                                    |   | 3 職員の1/3くらいが  |
|    |                                    |   | 4 ほとんどいない     |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。     | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が   |
|    |                                    |   | 2 利用者の2/3くらいが |
|    |                                    |   | 3 利用者の1/3くらいが |
|    |                                    |   | 4 ほとんどいない     |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての家族等が   |
|    |                                    |   | 2 家族等の2/3くらいが |
|    |                                    |   | 3 家族等の1/3くらいが |
|    |                                    |   | 4 ほとんどいない     |